



ふうの木のある学校からⅡ

高鍋町立高鍋西小学校 学校だより 5月号 文責 校長

ありがとうございます

先月のPTA総会の折に、登校時刻、登校方法、欠席連絡、学校への連絡等について、保護者の皆さんにたくさんお願いをしました。

昨年度、特に心配していた「①子どもの遅刻」「②正面玄関への送迎駐車」「③早朝からの電話連絡」が大幅に改善されつつあります。

① ②については、子ども達の安全確保や職員・業者とのトラブル防止につながり、③については、安全安心メール等の確実な活用により、1時間目からの授業スタートがスムーズに行えるようになってきています。

おかげで、子ども達もルールやマナーに気を付けて行動するようになってきています。

石井十次先生の

「子どもは、云（い）う様（よう）にはせずしてする様（よう）にするものなり」という言葉が功を奏しているのかもしれない。

大型連休が終わり、今の学年の生活に慣れてくる時期。ちょっと油断があったり、これぐらいはいいだろうと甘えが出てきたりする時期でもあります。

こういった部分を見逃してしまって、学校での学習や家庭生活に影響を与えてしまった事例もあります。

学校でもそういったことに対しては、毅然とした態度で対応し、叱るべきは叱るようにしています。

ご家庭でも、気になる言動等がありましたら、「なぜそう思った?」「例えば、どういうこと?」「そもそも、どういうこと?」と、問いかけてみてください。

きまりを考える

先日の職員会で、「子どもの身に付けているものが気になる」という話題になりました。

何かというと「ミサンガ」です。手首や足首に巻き付ける刺しゅう糸でできたお守りです。

もうしばらくすると、水泳指導が始まります。ミサンガは、糸が切れるまで身に付けていると願いがかなうとされています。

ということは、糸が切れるまで肌身離さず使用するわけで、衛生面が重視されるプールの水にとっては大敵となります。

しかも、これから気温も高くなり、汗をたくさんかくシーズンを迎えます。

「糸が切れるまで」身に付けていると、どうなるかは想像がつかますよね?

令和7年度高鍋西小安心・安全のきまりには、「必要でないお金や物を学校に持ってきません」と示しています。

これに従えば、「ミサンガは持ってきません。（身に付けません）」ということになります。中学校へ行けば、もちろん校則に従って・・・。

サッカーの「Jリーグ」が立ち上がって、有名な選達が身に付けていたことから、ミサンガが流行したことは記憶に新しいところです。

強い願いをもって身に付けている子もいると思いますが、「みんながしているから自分も」という子もいると推測されます。

一過性の流行に振り回されない子に育ててほしいと考えています。

みなさんは、いかがでしょうか?

リ・スタート

大型連休中、大きな事件や事故に遭うことなく、子ども達が元気に登校してきていることに感謝しているところです。

保護者の皆さんの家庭での言葉かけと、学校からの注意喚起が合わさっての相乗効果があったのだろうと推察しています。

5年生の田植えを皮切りに、2年生では芋の苗植え、3年生では高鍋湿原への見学等、体験を通して学ぶ活動も始まっています。

五感をフル活用して学んだことは、脳への定着率も高く、忘れられる割合も少ないという研究結果もあります。

連休中にリフレッシュした心と体を使って、ひとつでもふたつでも、「わかる」「できる」を増やしていきましょう。

事件

東京立川市では、学校へ侵入した大人が教員に暴力をふるう事件が起きました。

本校も、不審者侵入を想定したマニュアルが作成してあり、警察等の指導のもと訓練をしています。

どこからでも学校敷地内に入れる状況にあること、特別教室等への移動がしやすいように通用扉は常時開けていること、子ども達が机や椅子などでバリケードを作れるか、自分たちで逃げることができるか等、改めて考えさせられる出来事です。

「だれでもよかった」と、刃物を振りかざす事件「車の方から突っ込んでくる事故」などが多数報道されています。

「いかに命を守るか」が、ホントに難しくなっている世の中です。

避難訓練①

5月12日(月)、地震が発生し、津波の恐れがあるとの想定で、校舎屋上に避難する訓練を実施しました。

1年生にとっては、初めて屋上へ上がる機会となりましたが、どの学年も真剣に取り組んでいました。

授業中に地震が起こるかどうかは予知できませんし、休み時間や登下校中に起こることも想定されます。

その時、自分から考え判断して、よりよい行動ができるかも問われています。

昨年8月の地震では、高鍋西中の生徒が、近くの保育園児を手を引いて屋上に避難したことも広く知られているところです。

もしもに備えて、心と体を鍛えておく必要があります。

避難訓練②

5月25日(日)、町の津波避難訓練に参加しました。

私の地区の指定避難場所は、高鍋西中学校の屋上です。

指定避難場所を同じくする他地区の保護者の方々や子ども達にも多数会うことができ、皆さんの意識の高さを感じました。

- ① 避難所は指定されているけど、場所を決めるのはその人次第。
(周囲の状況から、臨機応変に判断する。)
- ② 町には、川の支流や水路がある。津波はそこを遡上しながら、水害を起こす。
- ③ 子どもさんのいる家庭は、登下校中、どこに避難したらいいのか、地域内を歩いて決めておくといよい。

など、防災士の方から貴重なお話をさせていただきました。

特に③は、「自分の命を自分で守る」ことにつながります。ぜひ、お備えください。